

包装リースだより 37

株式会社日本包装リースは、日本包装機械工業会の会員が出資して設立した包装機械・関連機械の専門リース会社です

お問合せ先：営業企画室 電話 03-6222-2261 <http://www.jpml.jp/>

リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームについて

日本再興戦略に掲げられた設備投資をリーマンショック前の民間投資の水準に戻すという目標の達成に向けた施策が経済産業省から発表されました。企業の債務に負担をかけないリース手法の活用を促

すスキーム（先端設備等導入促進補償制度推進事業）を用意することで、市場や需要の拡大のペリスを見極めることが難しい先端設備への大胆な投資を促すものとして、平成 25 年度補正予算で 50 億円の基金が拠出されました。

このスキームは、リース会社が行うオペレーティング・リース契約が対象となります。次の要件を満たす場合、基金設置法人（低炭素投資促進機構）とリース会社の間

で案件毎に「先端設備導入支援契約」を締結し、基本リース期間満了後にリース物件を売却する際のリース会社の損失の一部（物件金額の 5 % が上限）を基金から補償するものです。

【要件】

- ① 対象設備
産業競争力強化法に規定する先端設備等であつて「機械及び装置」全と「器具及び備品」の一部
- ② 対象ユーザー
民間事業者
- ③ 対象期間

平成 26 年 3 月 26 日から 27 年 3 月 31 日までの契約

対象設備の先端性の確認は、リース会社が基金設置法人に支援契約を申し込む際に必要になり、メーカーから最新モデルであることや将来価格の変動関係を確認、さらにユーザー様における事業の生産性の向上に資する設備であるかを確認して指定様式に記載することとなります。

また本スキームでは、オペレーティング・リースの要件として、リース料総額の現在価値（固定資産税や保険料などの維持管理費用を除く）を物件取得価格の 90 % 未満に設定します。リース会社が、10 % 強の残価を設定することで、ユーザー様は残価分のリース料を軽減することができます。

中古市場のある自動車リースでは一般的な手法ですが、本スキームにより先端設備の導入が進むことが期待されます。